IN ACTION

インアクション

3

4

川崎市市民ミュージアム インフォメーション

2

1

FREE PAPER

5

8

7

6

第5号 2026.9

Kawasaki City Museum Information

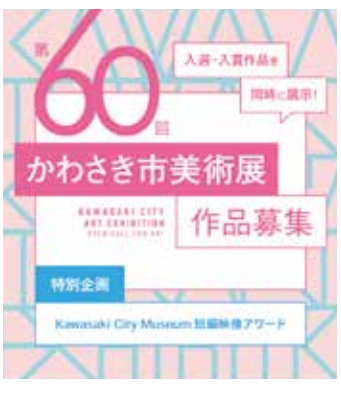
Vol.5

IN ACTION

川崎市市民ミュージアムは現在「IN ACTION（活動中）」をテーマに、
市内の他施設やオンライン等でアウトリーチ形式での展覧会やワークショップを開催しています。

「かわさき市美術展」は今年で誕生60年

「かわさき市美術展」は昭和42（1967）年にスタートした川崎市で最も歴史のある公募展です。芸術文化活動の振興を目的に、川崎市に在住、在勤、在学、あるいは市内で制作活動をしている人々を対象に、絵画や立体、工芸、書、写真など今では全６部門の作品を公募し、審査の上で入賞及び入選作品を展示しています。
令和元年東日本台風により当館が被災してからは市内施設に展示会場を移し、一度も途切れることなく歩みを重ねてきました。長年にわたり、市民の皆さまが育んできた創造の力がこの美術展を支えています。



そんな「かわさき市美術展」は、このたび記念すべき第60回を迎えます。今回の会場は、アートガーデンかわさき（JR川崎駅北口東 徒歩2分）。当館が被災して以降は、入選作品展・入賞作品展と2期に分けて開催していますが、今回は、入選・入賞作品展として同時に開催。作品の事前申込受付期間は令和８年10月1日（木）－11月５日（木）です。

第60回かわさき市美術展 入選・入賞作品展
会場：アートガーデンかわさき 展示室
会期：令和９年２月26日（金）－３月13日（土） *３月１日（月）、３月８日（月）は休室

さらに、本展の開催に合わせ、これまでの最優秀賞受賞作品を美術展の歩みとともに振り返る特別展も実施します。「かわさき市美術展」の歴史を彩ってきた名作の数々を、ぜひ併せてお楽しみください。

かわさき市美術展のあゆみ 最優秀賞作品展
会場：ミューザ川崎シンフォニーホール４階 企画展示室
会期：令和９年２月26日（金）－３月13日（土）
*３月１日（月）、３月８日（月）は休室

第59回展示会場の様子

今年の市美展はまさにお祭りです！　今回は特別企画「Kawasaki City Museum 短編映像アワード」を開催。「かわさき市美術展」の応募資格は中学生以上ですが、こちらは年齢不問で、市内在住・在勤・在学、または市内で活動する方ならどなたでもご応募いただけます。募集するのは短編映像作品。ジャンルやテーマは自由、3分以内の映像作品であれば応募可能です。
60回を迎える特別な展示会場で、あなたの作品が上映されるかもしれません。映像による自己表現、実験的な映像作品、短編アニメーションなど、多彩な作品をお待ちしています。
（かわさき市美術展事務局：安尾祥子）

第60回
かわさき市美術展ページ

第59回かわさき市美術展
最優秀賞《imaginary folklore -eye-》川畑健人

第59回かわさき市美術展
コミュゼ川崎大賞《ケバブの断面》
青戸蒼来

ミュージアム講座を開講します

開催日時：令和８年９月26日（土）・27日（日）
会場：宮前市民館４階 第４会議室

毎回様々なテーマで開講する「川崎市市民ミュージアム講座」。当館の職員が講師となり、昭和期に京浜・東横沿線で行われた霊場めぐりや、多摩川の渡船と架橋を取り上げる歴史関連の講座、さらに映画フィルムの保存・修復や紙に関する内容など、それぞれの研究・専門に基づきわかりやすく解説します。
お申込みは当館Webサイトまたは往復ハガキで９月14日（月）16時まで受け付けます。
（学芸員：杉浦央子）

「夏をうつしとろう！ フロッタージュでうちわづくりin宮前区役所向丘出張所」

令和８年５月24日（日）、宮前区の地域イベント「向丘つながるサンデー2026」に参加しました。これからの暑い夏を涼んでいただくため、フロッタージュ（ものの表面の凹凸を、紙の上からこすって写し取る技法）を用いて、日常とアートを掛け合わせたオリジナルのうちわを作るワークショップを実施。用意した葉っぱやミニ扇風機など夏らしい素材に子どもたちの目は輝きます。ものの表面が鮮明に紙に浮かび上がると参加者は驚いた様子で、他の素材も試しながら夢中になって取り組んでいました。市民ミュージアムは今後も創作の楽しさにふれてもらうため、市内各所でさまざまな活動を行っていきますので、お楽しみに。
（学芸員：田中進也）

お家の方や当館の職員と一緒にフロッタージュ！　古銭やリボンなど様々なものに挑戦

葉っぱの模様がくっきりと浮かんできました

花火や草が生い茂る様子が表現されていて、夏を感じますね。素敵なうちわができあがりました

コレモcollection

『TOBAE』トバエ09号「メンザレ号の救助」/
ジョルジュ＝ビゴー

ムーラン・ルージュのラ・グーリュ/
アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック

川崎市市民ミュージアムは博物館と美術館の複合施設として、様々な資料を収蔵しています。そこで「これもコレクション（収蔵品）なんだ！」というコンセプトのもと、当館Webページ「コレクション」を改修し、「コレモcollection」という収蔵品紹介のページを３月に公開しました。第一弾として、イチオシコレクションを紹介しています。様々な収蔵品を見ていただけるよう今後もコンテンツを増やしていく予定です。ぜひ、のぞいてみてください。
（学芸員：林花音）

コレモ
collectionページ

レスキュー報告プロジェクト

当館Webサイトにある「収蔵品レスキュー」をご存知ですか？ このページでは、令和元年東日本台風による被災後から現在も続く収蔵品レスキュー活動の報告冊子や映像記録などを随時公開しています。
今回ご紹介するのは、連載企画「被災収蔵品処置の記録 ―収蔵品を追う―」。被災した収蔵品に施した応急処置や専門家による修復作業について、写真を交えて紹介する記事です。
当館の多種多様な収蔵品に向き合う現場の取り組みをぜひご覧ください。
（学芸員：安尾祥子）

収蔵品
レスキューページ

にかわで絵の具が
はがれないように止めている様子

クリーニング作業の様子

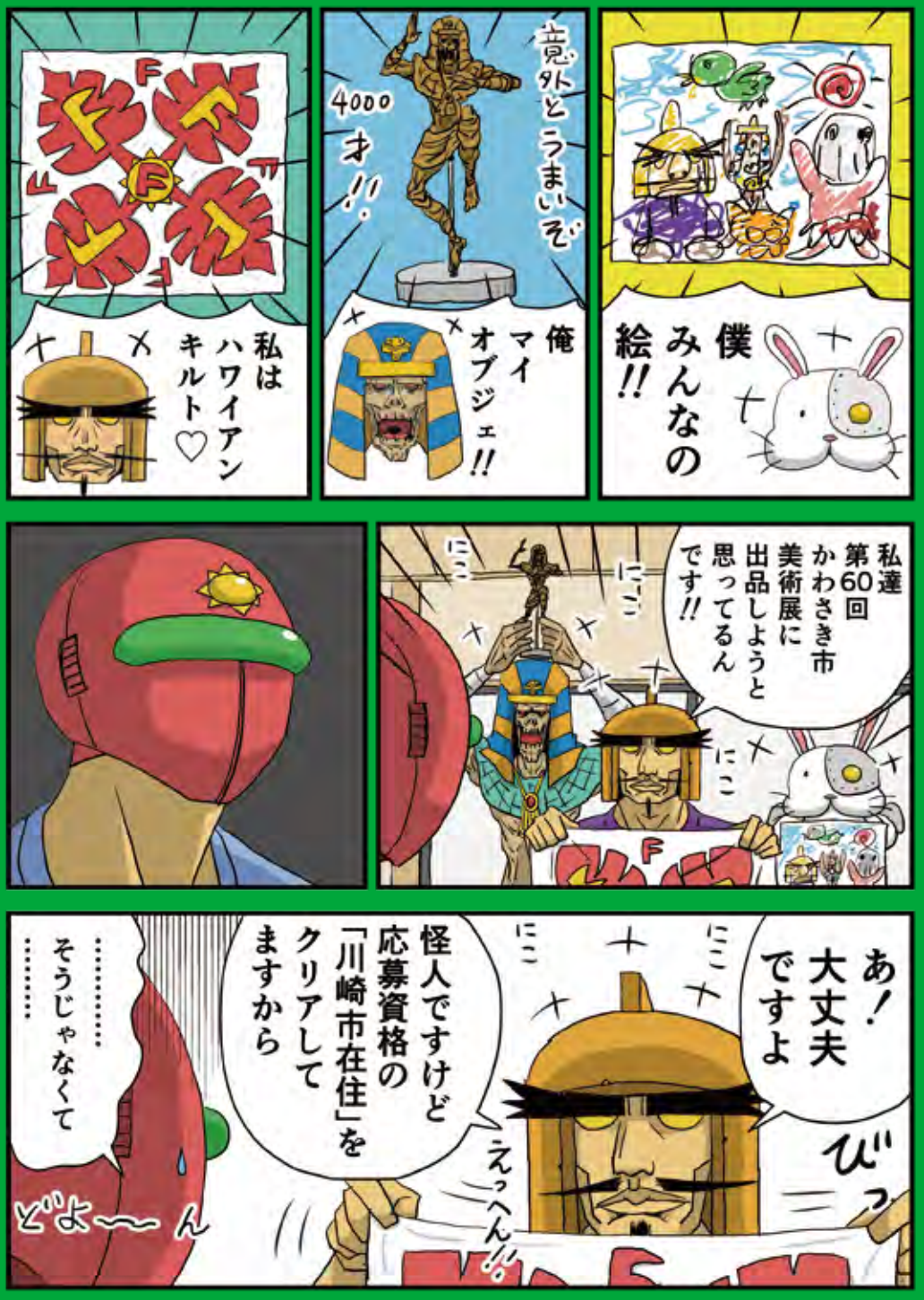
天体戦士サンレッドN × 川崎市市民ミュージアム コラボ版

フロシャイム川崎支部、恐怖の広報活動!?
作：くぼたまこと

ヴァンプ将軍もカーメンマンもウサコッツも
川崎市民──歴史ある公募展に堂々参戦！

「天体戦士サンレッドN」とは、川崎市高津区あたりで繰り広げられる正義と悪の戦いの物語である！
（しかし怪人たちと正義の味方は普段は川崎市民として生活をしている）

『ヤングガンガン』（スクウェア・エニックス）にて、2004年創刊号から2015年1号まで「天体戦士サンレッド」として連載された。
続編の「天体戦士サンレッドN」を作者の自費出版で製作。2019年9月に電子書籍、2020年1月に書籍版を発売。



●わかるよレッドさん、その気持ち!!

サンレッド
正義の味方なのに柄が悪いいつも普段着

ヴァンプ将軍
悪の組織フロシャイムの将軍
お人好し

カーメンマン
フロシャイムのミイラ型の怪人

ウサコッツ
フロシャイムのぬいぐるみ型の怪人

―作者コメント―
かわさき市美術展は60回を迎えるんですねえ！　僕は59なので一つ先輩です。タイミングが合えば見てみたいです。

編集後記

川崎市の芸術文化活動振興のため昭和42年から毎年開催している「かわさき市美術展」は今回で60回を迎えます。今回の表紙では歴史を飾る数々の名作の一部しかご覧いただくことができませんが、多くの方々に親しんでいただける公募展であり続けたいと思っています。今夏は、広報誌『IN ACTION』のこれまでを知っていただくため、「市民ミュージアムレポート ACTION IN ACTION」も開催。これからも市民ミュージアムの活動にご注目ください！

IN ACTION　川崎市市民ミュージアムインフォメーション　Vol.5

発行日：2026年9月4日
発行：川崎市市民ミュージアム
デザイン：一野篤
漫画：くぼたまこと

［問い合わせ先］
川崎市市民ミュージアム
〒215-0021
川崎市麻生区上麻生6−15−2
Tel. 044 712 2800
（土日祝・年末年始を除く8:30−17:15）
Fax. 044 712 2804
Mail: 25museum@city.kawasaki.jp

www.kawasaki-museum.jp

アンケートにご協力ください

表紙
1. 渋谷武美「島の人」　2. 森本修一「太陽と海と」　3. 古家郁子「トロッコ」　4. 横山隆渡「さようなら さようなら」
5. 庄司精一「身近な話題」　6. 肥沼守「通りぬける人」　7. 永谷二三子「ティーグレのララバイ」　8. 小野田志津代「交錯する形」

KAWASAKI CITY MUSEUM 川崎市市民ミュージアム

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市